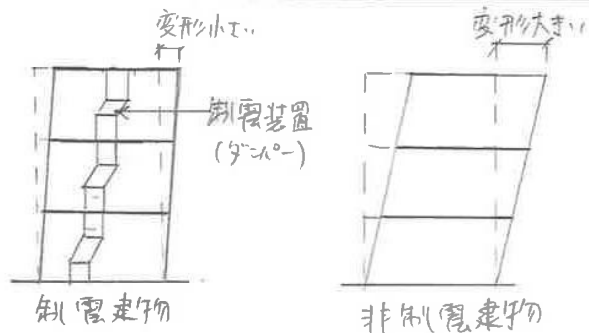


# 平成26年 No20. 建築構造

1. 制震構造 → ダンパーを用いて地震による損傷, 崩壊の防止や変形の抑制を目的とする
2. 第3種地盤における免震構造 → 高工にかけると時刻歴応答解析による設計が必要がある
3. 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造 → 張間方向と壁式構造, 桁行方向と偏平な形状の柱・梁からなるラーメン構造といた構造
4. コンクリート充填鋼管 (CFT) 柱の剛性と塑性変形能力 → 鋼管とコンクリートの相互拘束効果により塑性変形能力が高い

## 1. 制震構造

↓ 2011  
 建築物の骨組に取付けた  
 制震装置により地震  
 エネルギーを吸収  
 ↓  
 建築物の揺れを小さくする

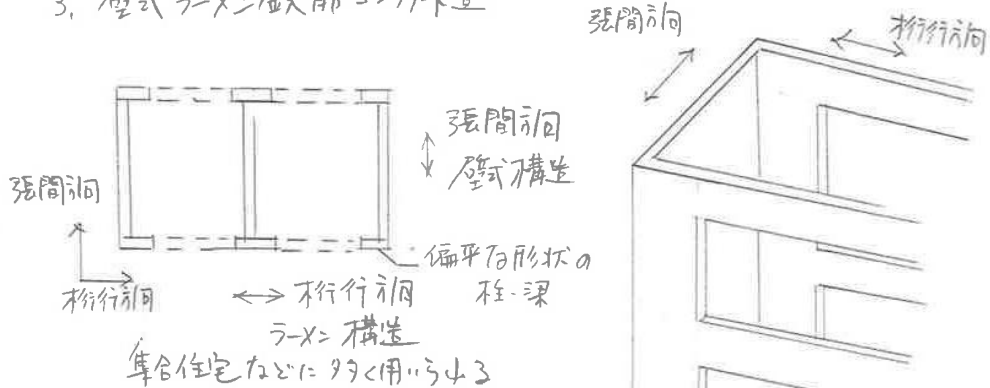


## 2. 第3種地盤における免震構造

(告示 2007号)  
 高工 60m 以下  
 1種及び2種地盤  
 ↓ YES  
 建築主事による  
 建築確認  
 (時刻歴応答解析不要)

NO → 60m を超える建築物  
 第3種地盤に建設する建築物等  
 (軟弱地盤)  
 ↓  
 時刻歴応答解析による設計

## 3. 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造



## 4. コンクリート充填鋼管 (CFT) 柱の剛性と塑性変形能力

